

【児童生徒数・学級数の推移】

(1) 児童生徒数及び学級数の推移（学級数は支援学級数を除く）

① 児童生徒数

小学校の児童数は、昭和55年の20,060人をピークに、平成30年度では10,467人まで減少し、ピーク時の約50%になっています。また、中学校の生徒数は、昭和61年の10,260人をピークに、平成30年度では5,306人に減少し、小学校と同様に、ピーク時の約50%となっています。今後の将来推計においても小中学校ともに減少傾向が続くと見込まれ、平成60年には小学校では8,268人、中学校では4,173人と、ともに現在からさらに20%程度減少する見込みです。

② 学級数

小学校の学級数は、昭和55年の509学級をピークに、平成30年度では325学級に減少し、ピーク時の約60%になっています。中学校の学級数は、昭和62年の238学級をピークに、平成30年度では144学級に減少し、小学校と同様にピーク時の約60%となっています。今後の将来推計においても小中学校ともに減少傾向が続くと見込まれ、平成60年には小学校では281学級、中学校では117学級と、現在からさらに15%～20%程度減少する見込みです。

【児童生徒数・学級数の推移】（学校基本調査及びコーホート要因法による将来推計より）

		昭和55年	昭和61年	平成12年	平成22年	平成30年	平成35年	平成40年	平成50年	平成60年
小学校	児童数	20,060	16,371	12,841	12,645	10,467	9,664	9,300	9,455	8,268
	学級数	509	435	387	398	325	317	316	309	281
中学校	生徒数	8,848	10,260	6,278	6,202	5,306	4,957	4,488	4,491	4,173
	学級数	210	238	175	175	144	140	129	129	117

(学級数の推計値は、小学校1、2年生は35人で1学級、3年生以上は40人で1学級として計上)

